

日本映像民俗学の会

Japanese Ethnological Film Society

・目的・

日本映像民俗学の会は、時間のなかに消えてゆく一回性の出会いを、光と影の生きた像として再現できる映像を媒介にして、日本の民俗事象にかかわろうとする研究者、映像作家、映像制作者など幅広い人々の新たな集りです。生活文化や民俗事象を生きた動態としてとらえることのできる映像は、これからの民俗調査に重要な役割を果たしてゆくのみならず、「日本とは何か」という私たちの存在基盤そのものを、視覚と聴覚から触発される感性をとおして訴えることができます。さらに、私たちの「いきざま」を言語の壁を越えて語ることも可能です。

本会は、映像と民俗学の結び得る方法と理論を模索しながら、映像民俗学の確立を目指すものです。

なお、この会は、誰に対しても開かれた組織です。今まで映像にかかわることのなかった人でも、民俗学についての専門家でなくてもかまいません。これから映像と民俗学に関心をむけようとする人々の入会を歓迎いたします。

・沿革・

1974年 「映像民俗学を考える会」が発足。

1977年 公開研究会開催（八王子大学セミナー）。会を「日本映像民俗学の会」として発展的に解消する。

1978年 発会総会（長野県下伊那阿南町新野、伊豆神社御厨）。

発起人は、野口武徳（故人；成城大学教授・社会人類学）、宮田登（故人；筑波大学助教授・民俗学）野田真吉（故人；記録映画作家）、北村皆雄（記録映画作家）。

1998年 20周年記念大会（於国立民族学博物館）。

2003年 25周年記念大会（於宮古島狩俣住民センター）。

・活動・

本会は、上述の目的にそって研究総会の開催と、ニュースレター及び会誌『映像民俗学』の発行を行っています。また東北、東京、関西の会員が中心となって研究会、現地調査会、公開上映会を適宜開催しています。2005年2月現在の会員数は、52名です。

・組織・

代表 牛島 巖（駒沢女子大学・教授）
事務局長 北村 皆雄（映像作家・ガイジュアルフォーカス代表）
亘 純吉（駒沢女子大学・教授）（編集担当）
大塚 正之（映像作家）（会計担当）
運営委員 大森 康宏（国立民族学博物館・教授）
岡田 一男（映像作家・東京シネマ新社代表）
間宮 則夫（映像作家）
阿部武司（東北地区：映像製作）
会計監査 多比良建夫（チーフ・アドバイザー・電通テック福岡支社）
松島 岳生（記録映画雑誌編集者）

本部・事務局

〒160-0014

東京都新宿区内藤町 1-10 テラス小黒 201

03-3352-2291 FAX 03-3352-2293

E-mail: info@jefs.org